

# 鴨川ギャラリー（仮称）の試行について

～橋の下の空間利用～

第14回鴨川府民会議の議論を踏まえ、目的やコンセプト等を整理し、整備の方向性を定め、本年度の施工箇所等、実施に向けた案を策定しましたので、報告します。

## 1 整備の方向性

### (1) 目的

鴨川は、平安京の造営以来、京都の歩みとともに絶え間なく流れ、その歴史の中で人々の集いや遊興の場、芸能発祥の舞台となってきた。

鴨川が憩いの場として整備が進む中で、橋梁下についても、治水上の安全性を冒さない範囲で、まずは鴨川にまつわる歴史・文化などの魅力を発信する貴重な場として活用するとともに、可能な箇所では併せて、休憩施設を設置することにより、快適な利用をサポートし、鴨川のイメージアップを図る。

### (2) 整備にあたって考慮すべき事項

- ① 休憩施設を設ける箇所は護岸を撤去するなど、現状の散策路の幅を狭めないこと。
- ② 日々の清掃などきめ細かな維持管理や落書き、放火など破損時の修繕が容易にできること。
- ③ 出水時の支障とならない構造であること。

### (3) コンセプト

- ① 「明るく、綺麗で、安心安全に利用できる」
- ② 「橋の周辺にまつわる歴史、文化などの情報を発信する」
- ③ 「休憩できる」

### (4) 整備の方向性

京都らしい魅力ある場所として橋の下で**町家風景観**を創出する。

## 2 本年度施工箇所の選定及び整備内容（案）

### ○ 箇所の選定

- ・利用者の多い場所で、本年度工事箇所周辺でないこと
- ・幅広い利用者の声を聞くため、鴨川下流（繁華街に近く観光客の多い区間）、上流（比較的地元の方の利用の多い区間）の利用形態の異なる2箇所で実施



下流：二条大橋（右岸） 上流：出町橋（右岸） を選定

### ○ 整備内容（案）

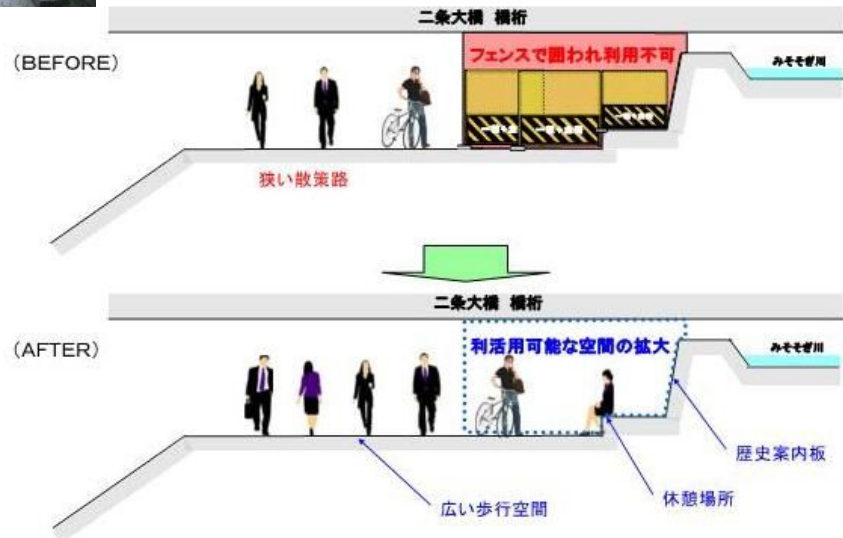
- ① 護岸表面・ギャラリーは京都らしい仕様（材料）とする。  
例. 犬矢来、格子等
- ② 鴨川にまつわる歴史・文化の情報発信を行う。  
例. 二条大橋：二条河原落書  
出町橋：葵祭
- ③ 照明を設置する。  
例. LED照明等（太陽光発電）
- ④ 休憩施設を設置する。  
例. 椅子（腰掛け椅子等）
- ⑤ 現地で利用者の声を把握する。  
例. 意見箱の設置、アンケートの実施

## 3 二条大橋（右岸）及び出町橋（右岸）の整備イメージ



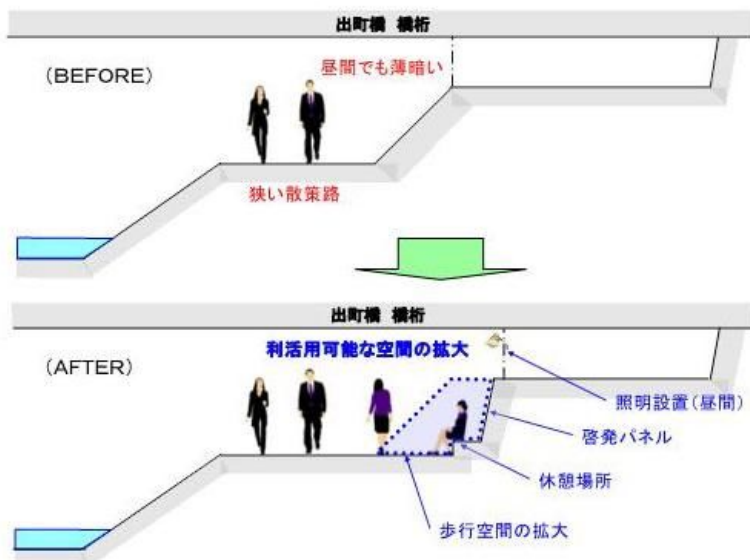
## 二条大橋右岸整備イメージ

橋の下改善計画(二条大橋) 実施イメージ



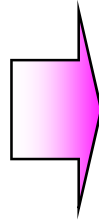
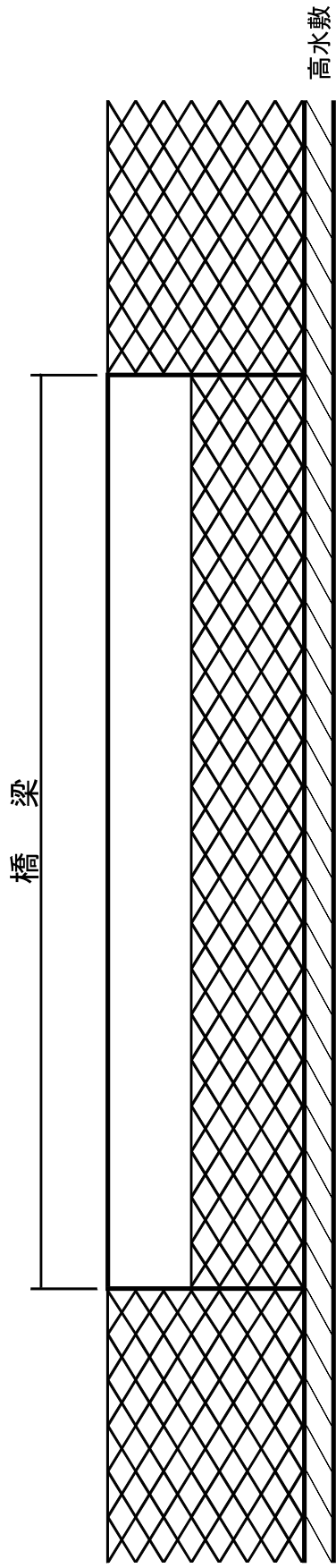
## 出町橋右岸整備イメージ

橋の下改善計画(出町橋) 実施イメージ



## 4 今後の予定

- 第15回鴨川府民会議の議論を踏まえ、年度内の整備を目指す。
- その他の橋の下については、アンケート結果等府民意見を踏まえて、次年度以降調整する。



和風ギャラリー + エコ照明

